

財六甲台後援会だより (18)

出光佐三記念六甲台講堂について

かねてより皆さんに何回かご報告をし、また募金もお願いしました。六甲台講堂の修復がいよいよ完成しました。10月31日の第4回神戸大学ホームカミングデイの式典は「出光佐三記念六甲台講堂」となったこの講堂で実施されました。六甲台後援会としては、六甲台講堂を再生させて、国際学術会議や学際的総合研究会などを挙行できる場にしたという大学本部の要請に応じて、先に後援会基金より1億円を拠出することを決定してきました。お蔭さまで、この6月までに皆さんからは1億1,400万円余のご寄付を頂きました。講堂修復には4億円強が必要であり、大学本部では、神戸大学基金のうちから不足分は何とか補充したいと言っておりましたが、出来れば卒業生の関係の深い企業からのご寄付を頂けないかと申ししておりましたところ、野上智行学長(当時)と安藤幹雄氏(昭和45年法学部卒、理事(当時)、現学長補佐)のご努力で出光興産株式会社(創業百周年記念事業の一つとして不足額をご寄付くださることになりました。同社では、会社としてではなく、創業者であり今日の出光興産株式会社の発展を図られた出光佐三さんを記念する形にしてほしいということ、この名称になった次第です。これで、大学本部が以前から用意しておられた1億円強と合計すると、再生の

ための所要費用は十分準備出来ることになりました。そこで、六甲台後援会としては講堂の再生のため先に寄付した1億円を、今後の六甲台講堂の維持・管理のための基金として頂くこととし、差し当たり、その中から今回は綴帳と中山正實画伯の壁画補修のための費用を支出して頂きました。これで六甲台講堂は、事実上最も縁の深かった凌霜会関係者のご尽力によって再生出来たことになりました。皆さん本当にありがとうございました。

ところで、出光佐三さんは、皆さんご承知のように神戸高等商業学校を明治42年に卒業された大先輩で、昭和56年に95歳で亡くなりました。その時、出光さんについて凌霜誌271号には、同級生であった永井幸太郎さん(元日商社長・財神戸大学六甲台後援会初代理事長・社凌霜会第2代理事長)と神戸商業大学1回生(昭和7年卒)の西川英三さん(三菱商事株、戦時中の日本油料統制株などを経て、幸商事株社長)とが追悼文を寄せておられますので、皆さんの中でその号をお持ちの方は是非もう一度ご覧頂きたいと思えます。また亡くなられたとき、各全国紙では揃ってその生前のご活躍について記事が掲載されましたので、余裕のある方は、各紙の縮刷版などもご覧頂けたらと思います。しかし30年近く前の事ですから、今そんなお願いをしても無理かもしれません。そこでほんの少しでもご紹介させて頂きますと、永井さんは、出光さんが高商卒業生としては異例な個人商店への丁稚奉公からスタートし、2年後から独立して門司で石油の仕事を始められたこと、出光さんが水島鏡也校長(神戸高等商業学校の初代校長)を慈父のごとく尊敬し、また内

池廉吉先生の「商人の道は生産者と消費者を直結するという根本方針が必要」との教えを守り、人間尊重をモットーに、出勤簿も定年制もない理想企業をつくりあげられたこと、また徹頭徹尾「日本人」であったとともに人情に篤く、同窓生に尽くしてくれた人としてその死を悼んでおられます。また西川さんは、特に、出光さんが昭和41年に出光興産5階の27坪を東京凌霄クラブとして利用させて頂いたのがきっかけで、同45年には現在の地下2階の部屋を貸し替えて頂いたことなど、出光さんがいかに母校とその卒業生のために、ご尽力くださったかを感謝しながら綴っておられます。

第4回ホームカミングデイでは、大学全体の式典・行事の後、われわれ社会科学系3学部と国際協力研究科を含む4研究科の卒業生を対象にした式典・行事があり、石井淳蔵名誉教授（現在の流通科学大学長）の講演がありました。年内には出光佐三さんを記念した講演会を大々的に公開で、この記念講堂で聞くように構想してもらっています。その時には、出光さんの功績はもちろん、十数冊の著書や卒業論文なども閲覧出来るように準備しておきたいと思っています。出光さんの経営理念は、金融危機とグローバルゼーションで混乱している世界の経済界に改めて一つの反省を迫るものであります。この度は、神戸高商時代の出光さんの卒論「筑豊炭及若松港」を拜読して文字通り感服しました。これは毛筆で書かれ381ページにも及んだ大作であるだけでなく、実に綿密な実証分析で、その中で石炭と石油のエネルギーとしての将来像にまで言及しておられるという展開になっています。前述の永井さんは、出光さんは

「学生時代は悠揚迫らず、特に目立ったような存在ではなかった」と述べておられますが、この卒業論文はその後の奮闘努力とご成功を予告する素晴らしい内容になっています。皆さんにはそれをご覧になれる日を期待して頂きたいものだと思います。

六甲台後援会へのご寄付について

「週刊ダイヤモンド」誌は、この8月29日号で、有力400社への各大学の就職率や法科大学院修了者の新司法試験合格率などを掲載しました。最初の就職率では、神戸大学は豊田工業大、東京工業大に次いで3位、一橋大が4位、慶應義塾大が5位となっています。もっとも、東大・京大は回答がなかったというので取り上げてありません。また、後者の合格率では一橋大に次いで2位とされています。こうした大学ランキングは、これからいろいろな形で発表されることになりませんが、その中で上位を守り続けようとするれば、どうしても先生方と学生諸君自身の切磋琢磨が結実しなければなりませんし、そのためには、多面的な努力が積み重ねられなければなりません。卒業生の皆さんのそれを支援する体制の強化、なかでも財政的支援もその一つです。その点ありがたいことに、今期も、次の方々からご寄付を頂戴いたしました。すなわち、福田亘様（昭41・経済）15万円、榎木博様（昭37・法）3万円、神木哲男様（昭34・経済）10万円、則武保夫ゼミOB会様100万円、伊賀隆様（名誉教授・経営）10万円がそれぞれです。ありがとうございます。お蔭さまで、16年度から呼びかけさせて頂くようにしてから6年、今年度はまだ年度は終わっていませんが、計約1億9,344万円の巨額に

達しました。心からお礼申し上げます。

なお、いつも申し上げていきますように、六甲台後援会へのご寄付につきましては税法上の特別措置のある証明書付きの領収書をお送りしております。六甲台後援会へのご寄付の送り先は以下の通りですので、どうかよろしく願います。

◎銀行送金の場合（銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でもFAXでも結構ですから、送金のことを事務局へご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金口座 4069496

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 00980-9-116772

口座名義 (財)神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

(財)神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

国民経済雑誌 第199巻 第6号 (6月刊)

論 文

| | |
|--|---|
| 日本のビジネス・システム..... | 加護野 忠 男 |
| 環境配慮型設計と原価企画 —サーベイ調査に基づく予備的考察—..... | 梶原 武鏡 久杓 朴加 登 豊 西島 章 次 石川 雅 紀 梶内 瀬 和 竹 憲 志 司 |
| ブラジルのサトウキビ産業とその雇用に関する実証研究..... | 西島 章 次 |
| 容器包装リサイクルにおける自主的アプローチとEPR..... | 石川 雅 紀 |
| 割引率選択が気候変動政策の評価に与える含意について..... | 梶内 瀬 和 |
| ブルーオーシャン戦略論の有効性： 日本企業における事例研究..... | 鳥田 智 明 片山 三 男 |
| 戦前・戦後の三輪自動車産業についての一考察..... | 片山 三 男 |

第199巻総目次